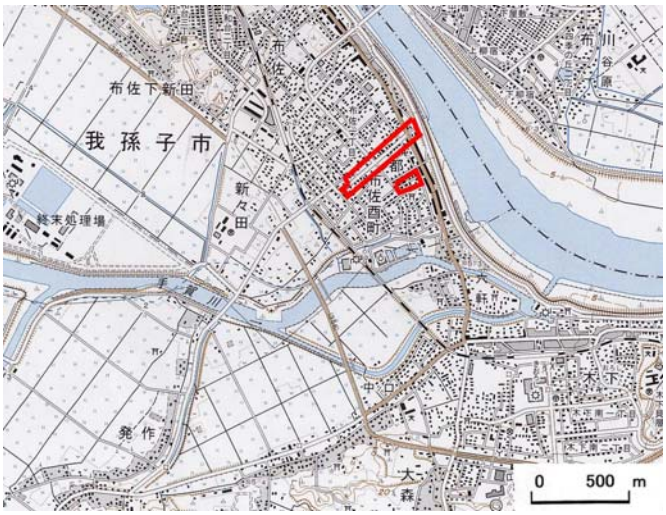
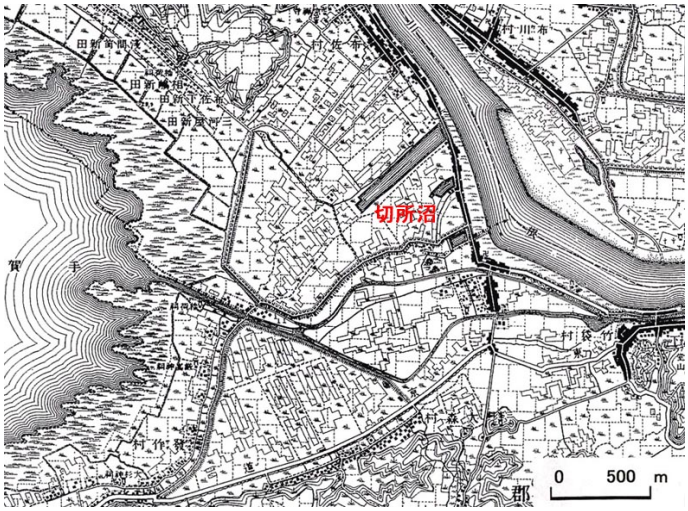
東日本大震災による我孫子市布佐地区の被害

千葉県我孫子市布佐・都地区（2011 年 4 月 13 日 橋詰直道撮影）

我孫子市布佐地区の国道 356 号と県道千葉竜ヶ崎線が交わる都交差点から南西に細長い区画とその南東の一角の住宅地は，明治 3 年の洪水で利根川堤防が決壊してできた沼「切所沼」を約 60 年前に川砂で埋め立てて造成した土地で，今回の震災で大きな被害が出た。ここでは 3.11 の大地震と直後の余震発生時に液状化が起こり，道路や庭・家屋内から水と砂が噴出し，一時道路は元の沼に戻った（下の地形図参照）。これにより地盤が約 1m も沈下したり，家屋が傾いたり 118 戸が全壊し，災害救助法の適応も決まった。



我孫子市布佐周辺の 1/2.5 万地形図「龍ヶ崎」
(平成 18 年更新) 国土地理院発行　赤い部分が切所沼跡



130 年前の同地域，1/2 万迅速測図「龍ヶ崎村」
(明治 14 年測量) 参謀本部陸軍部測量局発行

我孫子市布佐・都地区の住宅被害　2011.4.13
宅地だけでなく，道路脇の電柱も 1m近く沈下した。

我孫子市布佐・都地区の住宅の被害　2011.4.13
商店内に泥水が噴出し，地盤は 1m近く沈下した。

我孫子市布佐・都地区の住宅被害　2011.4.13
住宅の地盤が沈下し，塀も大きく傾いた。

我孫子市布佐・都地区の住宅被害　2011.4.13
切所沼の南東部一角の沼の跡地も大きな被害を受けた。